



パレスチナ・ガザ地区 緊急支援募金

7月8日から現在に至るまで、イスラエルのロケット弾によるパレスチナ・ガザ地区への攻撃が頻繁に繰り返され、多くの子ども達を含む200名以上の市民の命が犠牲となっています。

このたび人道的な立場から、ガザ地区にあるガザYMCAならびに世界YMCA同盟より、この悲惨な状況下にあるガザ地区の人びとを支援するための緊急支援募金が呼び掛けられました。今後、ガザYMCAが中心となって行う緊急支援活動に用いられます。

みなさまのご協力を、よろしくお願い申し上げます。

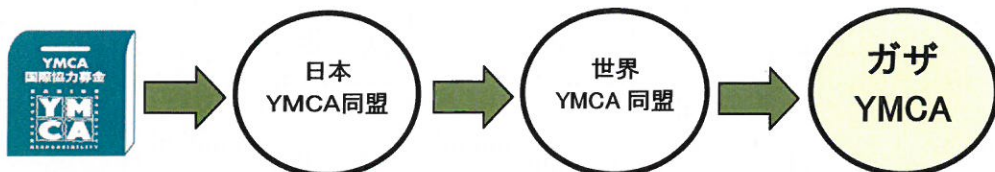
※支援内容の詳細については、計画が届き次第、続報にてお知らせいたします。

●募金期間 2014年7月18日(金)～8月31日(日)



小学校に避難した人びと 毎日新聞社

募金はどうしてガザへ届けられます



皆様から寄せられた募金は、公益財団法人日本YMCA同盟を通して世界YMCA同盟に送金され、世界中から寄せられる募金とともにガザYMCAの活動に用いられます。

※募金総額の1割を緊急支援の遂行のための事務局経費とさせていただきます。

公益財団法人 京都YMCA

TEL 075-231-4388 FAX 075-251-0970 E-mail: kyoto@ymcajapan.org

Emergency Support for Gaza



ガザからのメッセージ

Emergency Support for Gaza

YMCA の仲間達と強い絆で結ばれていること、皆さんが私たちのことを心配してくださっていること、そして迅速な対応に心から感謝します。

とても残念なことに、今ガザで起きていることは、7月上旬に米国コロラド州・エステスパークでみなさんと共に過ごした世界 YMCA 大会の素敵な思い出、恐怖や支配からの解放感、そうしたことを私から奪いました。世界 YMCA 大会からの帰路、イスラエル側からガザへの移動許可が下りず、大変困難な状況の下にある私の家族が待つガザに戻ることは容易ではありませんでした。

ガザにいる YMCA の仲間達、怪我を負った人達、引き裂かれた家族に対して、緊急支援と継続的な支援をすることが、私たちに求められているということは確かです。しかし現状では、ガザにいる人々は家から出ることができません。無線操縦の無人攻撃機は、動いているものを探知し攻撃の対象としているからです。絶え間ない爆撃、ロケット攻撃、空爆のせいで、ガザ YMCA の仲間達に会うことはおろか、こうして皆さんに手紙を書く時間すら十分に取れません。空爆はすべて夜間に行われるため、私たちは夜眠ることができません。私自身、自宅にいても全く安心することができません。この様な悲惨な状況を皆さんにこうしてお伝えすることを申し訳なく思いますが、これが現実です。私たちは、これ以上多くの血が流れること、暴力行為が続くことを望みません。

まずはガザ YMCA として緊急支援をみなさんをお願いするべく、なるべく週末までに支援の依頼内容の詳細を取り決めるよう努めます。

世界各地の YMCA の仲間達、そして総主事の皆さんが、私たちの強い絆を改めて示してくださっていることに、重ねて心より感謝します。

主のお導きによりこの小さな平和の地に、和平と愛が訪れますよう。

最後までお読みくださり、ありがとうございました。

ガザ YMCA 総主事
Suheil Tarazi



ガザ YMCA
Suheil Tarazi 総主事



ガザ YMCA チェンジエージェントの Hany Farah さん
右側黄色い T シャツ
7月上旬アメリカにて行われた第 18 回世界 YMCA 大会にて、各国から集まったチェンジエージェントと共に活躍されました。